

# 年 頭 所 感



北海道知事 高 橋 はるみ

新年明けましておめでとうございます。

北海道医師会の皆様には、平素から道政各般にわたり、深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝を申し上げますとともに、皆様とともに新しい年を迎えることができましたことを、心からお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、大雪や豪雨といった自然の猛威が相次いで本道を襲う中、9月6日、道民がかつて経験したことの無い最大震度7を記録する北海道胆振東部地震が発生し、多くの尊い命が失われました。大規模な土砂災害、家屋の倒壊や道路の陥没など甚大な被害が生じ、また、道内全域での停電によるライフラインの寸断や産業被害の拡大など、道民の暮らしや経済社会活動に大きな影響を及ぼしましたが、北海道は今、多くの皆様に支えていただきながら、災害からの復旧・復興に向けて全力で取り組んでいます。

一方、北海道命名150年の節目を迎え、天皇皇后両陛下の御臨席を賜り、記念式典を開催するとともに、道民・企業・団体の皆様と一体となって様々な企画を展開し、多くの方々に本道の礎を築かれた先人の偉業を振り返り、未来を展望していただく機会とすることができました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

地域医療の確保においては、皆様のご協力により、一昨年、全国に先駆けて実用化した「メディカルウイング」が本格的に運航しております。また、北海道医師会や北海道病院協会、医育大学のご協力のもと、「緊急臨時的医師派遣事業」や医育大学の地域枠制度などを利用した医師の確保をはじめ、在宅医療の充実、健康寿命の延伸やがん患者への支援などに取り組んでいます。さらに、昨年の医療法及び医師法の一部改正により、新たに策定することとなる医師確保計画におきましては、医師の地域偏在の解消に向けた効果的な対策を検討することとしております。

医療や介護、生活支援などのサービスを切れ目なく提供する地域包括ケアシステムの構築については、市町村と連携して進めるとともに、介護人材の安定的な確保に向け、離職した介護福祉士等の再就職支援、介護ロボットの導入促進、そして障がいの

ある方々の多様な就労の創出などの取組を進めます。

昨年3月、北海道医師会の皆様のご協力により、道の保健・医療・福祉施策の基本となる「北海道医療計画」を策定したところであり、医療機関の機能分担と連携を図り、地域医療の体系化を推進し、良質で切れ目のない医療を効率的かつ継続的に提供する体制の整備に努めてまいります。

道といたしましては、こうした取組を通じて、地域医療の第一線でご活躍なさっている北海道医師会の皆様との連携をさらに深めながら、保健・医療・福祉の推進に努めてまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとりまして、希望にあふれる年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

